文教厚生常任委員会活動レポート

開　催　日：令和８年 10 月 20 日(火)
開催場所：１・２号委員会室

町 立 病 院

１．町立病院の管理運営について

令和８年度８月末現在の入院延べ患者数は 3132 人、１日平均 101 人、病床利用率 58.4%で、予算を 182 人、前年同月を 428 人下回りました。一方、外来延べ患者数は１万 2644 人で、予算を 313 人、前年同月を 597 人上回りました。入院・外来を合わせた診療収入は２億 8741 万２千円で、予算を 804 万５千円、前年同月を 948 万５千円上回ったとの報告を受けました。

【主な質疑】

委員：診療収入が予算を上回る一方、入院患者数が前年同月を下回っている要因は？

担当：減少が大きい診療科は内科で根室・釧路管内でも入院患者数は減少しています。内科外来患者数は前年並みで重症化する前に適切な治療が行われている可能性もあります。救急患者や入院患者を断る体制変更は行っていませんが、現時点で特定要因まで把握できていません。

委員：１階休憩スペースは会計待ちの方などから見えることで落ち着いた利用ができない状況です。パーテーションの設置など、くつろげる環境に改善は？

担当：既存スペースの利用状況を確認し、パーテーション設置なども検討し利便性に配慮した施設運営に努めます。

委員：保険診療は消費税非課税ですが医療機器購入時には消費税を負担しています。この控除対象外消費税の経営への影響と国への要請状況は？

担当：全国の医療機関に共通する課題で当院では過去３年、年間約２億 3,000 万～２億 4,000 万円の雑損失が生じています。関係団体が行う国への要請に賛同し当院も要請活動に取り組んでいます。

委員：赤字の改善可能な経費と収益面の課題をどのように区分し、目標を見直していきますか？

担当：人件費や物価高騰に加え、築 27 年を経過した施設の修繕、長期間使用している医療機器の更新など複数の要因が重なっています。令和７年度は診療報酬収入が過去最高となりましたが、それを上回る経費が生じ構造的な問題が大きいと認識しています。